



田植え(いほの里)



雑木林でツリーイング
を楽しむ(富山市山田)



野外保育に参加する家族の皆さん。
左から武市成子さん、田中亜美さん、野崎亜紀さん、麻島智美さん、
輪島明子さん、斎藤紀子さん、代表の藤井優子さん、三宅可倫さん



森の中のお誕生会
(いほの里)



森にあるツリーハウス
(高岡市西広谷)

魅力いっぱい Vol.5 元気とやま

一度しかない子ども時代 “今、このとき”を応援!

富山森のこども園(富山市)

「富山森のこども園」は、父母による自主運営で野外保育と自然体験プログラムを提供するグループです。哲学者ルドルフ・シュタイナーがドイッテで提唱した「教育芸術」や「デンマークで始まった「森の幼稚園」を参考に、自然体験を軸にした子育てを行っています。今年10周年を迎え、県内全域から元気の親子が集っています。

活動を始めたのは代表の藤井徳子さん。「カナダ、ドイッテで暮らしていたころ、自分の子どもを「森の幼稚園」に通わせていました。元々教員でしたが、このプログラムはまさに目から鱗が落ちる思いです。自然の中でこんな教育ができるんだ」と感じてさそってです。

平成18年、緑あつて富山で暮らすことになり「この環境ならできる」と思い立ち、仲間を声をかけてスタートしました。

現在、メンバーは約70名。毎週、未就学児を対象とした野外保育を県自然博物館の里で開催。森の探検、焚き火調理やおはなしの時間を親子で楽しめます。また、富山市山田の「KORORINの森」そはの雑木林などを拠点に、秘密基地の家の作りやツリーイング(木登り)など、誰でも参加できるイベントを定期的に開催し、自然の中で子どもの感性を育てています。

子どもたちは包丁も使うし、火も使う。危ないことはいくらでも、体験を通しての扱い方を覚えていきます。何をやるのも自由なので、自分の意志でやりたいことを決める。これが大事なことと藤井さん。

子どもと一緒に過ごす時間は、限られたもの。「森の中で幼い子どもと過ごす時間は今しか得られない宝物です」と事務局の兼崎さんは話します。

子育てが大変なときも助け合えば乗り切れる。よきよきの子もたちが、輝くような幼少時代を過ごすよう仲間や支援者を増やしていきたい、と張り切っています。8月には親子で楽しめる和鼓の音楽会を開催する予定です。

富山森のこども園 <http://yamanochild.org/jp/>

県政 Q&A

県政に関する質問に 知事が答えます!



Q 県では、家庭教育力向上にどのような取り組みを行っているのか、お聞かせください。

A 子どもを育て、その成長を見守ることは大変なことですが、大きな喜びや楽しみをもたらします。しかし、一方で子育て中には悩みや不安を感じることがあります。そこで、県では、子どもたちの健全な成長を願って、親同士が話し合いながら子どもへのかわり方について学ぶ「親学び講座」をOTA等と連携して開催しています。子ども同士がけんかや親がどうかわらぬか「夜泣くまでスマートフォンを使う子どもと対応する」といった実際に身近で起きているような事例をもとに考えます。参加者からは、多様な考え方に気づいた、親同士のつながりが生まれた、など98%の方が「参加してよかった」との評価をいただいています。

こうしたなか、今年度は、新たにスマートフォン等の危険性等の情報を盛り込んだ「親学びノード」の作成・配付、乳幼児の保護者を対象とした「親学び講座」の推進など、取組みの一層の充実を図ることとしており、今後とも家庭教育力の向上に努めてまいります。

新首都圏情報発信拠点

「日本橋とやま館」オープン

6月4日、東京・日本橋に「日本橋とやま館」がオープンしました。富山の日常の「上質なライフスタイル」を提供する拠点として、多様な魅力を発信し、富山と首都圏をつなぎ、富山への誘客・移住、販路拡大等に取り組んでいます。



富山と首都圏をつなぎ新たな拠点

首都圏での情報発信力の強化

北陸新幹線が開業し、今年4月までの利用者が前年同期比で約3倍となる1千万人を超えました。県内でも、多くの観光地等での入込数の増加や本県への本社機能等の一部移転、大型商業施設の相次ぐ出店など、期待以上の大きな効果が表れています。

県では、この開業効果をしっかりと持続・深化させ、本県の新たな発展・飛躍につなげるため、物販・飲食・観光等の情報提供、イベント開催等の多様な機能を持ち、首都圏において富山の魅力を総合的に発信する新たな拠点として「日本橋とやま館」を開設しました。

上質なライフスタイルの提供

「日本橋とやま館」のコンセプトは、富山の日常の「上質なライフスタイル」の提供。単にモノを売るだけでなく、富山ならではの食文化を愉しみ、伝統工芸品など特色のあるものづくり文化を体感してもらうことにより、富山の豊かな自然・文化・食等の魅力を発信します。

●銀座への目抜き通りに開設

場所は、東京・日本橋。日本橋三越本店新館の真向い、日本橋から銀座への目抜き通りである「中央通り」に面し、地下鉄「三越前」駅のすぐそばに位置しています。

●開放的で上質な雰囲気を出し

面積は、4万7千平方メートル。ビルの上階にワンフロアで大きな

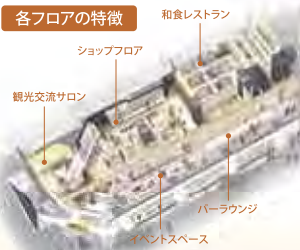
富山と首都圏をつなぐ

県では、「日本橋とやま館」を活用し、市町村とも連携して魅力を発信するなど、富山への誘客・移住、販路拡大等に取り組んでいます。また、ここが県民の皆さんと首都圏の皆さんをつなぎ、皆が生まれる場所となることを願っています。ご旅行やご出張の際には、是非お立ち寄りください。

スペースを確保しました。路面側には広いショーウィンドウを設け、内部が見える開放的な空間を創り出しています。また、館内には井波彫刻のほか、随所にタマヤマスギやケヤキ、ナラ、城端しげ絹などの県産素材を使用し、富山らしい上質な雰囲気を演出しています。



ロゴマークコンセプト
「富」を「山」で囲み「富山」そのものを表現。また、富山の豊かな自然を両手で受け持つように囲み、真上に伸びるアンテナから情報を発信します。



【ショップフロア】

ます寿しや富山の地産、昆布、水見うどんなどの食や、高岡銅器や越中紙などの伝統工芸品といった、富山の上質な暮らしを彩る約700点の商品を販売。また、新商品等のトライアル販売も積極的に。行い、県産品の販路開拓につなげます。



【和食レストラン】

高低差4,000メートルの地形が育む海の幸・山の幸など、多彩な食の魅力を発信。富山直送の新鮮な食材を中心とした料理を、高岡漆器や越中瀬戸焼など、伝統工芸品の器で提供し、お客様に「本物の富山」を堪能していただきます。



【観光交流サロン】

富山への観光誘客や富山ファンへの更なる獲得などを目的として設置。コンシェルジュが常駐し、最新の観光情報だけでなく、Uターン情報を提供し、富山への観光誘客、移住・定住の相談を行います。また、外国の方には、英語での案内もいたします。



【イベントスペース、パーラウンジ】

「イベントスペース」は、市町村等主催のイベントや、展示・販売会・セミナーの開催など多目的に使用。「パーラウンジ」では、県内17蔵の日本酒を中心に提供し、富山ファンや来館者の交流・憩いの場としてご利用いただけます。



日本橋とやま館

〒103-0022 東京都中央区日本橋區京町1-2-6
日本橋大栄ビル1階
TEL: 03-6262-2723 FAX: 03-6262-2724
ホームページ: <http://toyamakan.jp>

■営業時間のご案内
ショップフロア/10:30～19:30
和食レストラン/11:30～14:30、17:00～22:30
(日・祝日は21:00まで)
パーラウンジ/11:00～21:00
※休業日 12月31日～1月3日

■交通のご案内
(東京メトロ)
銀座線・半蔵門線「三越前」駅
(B5出口)より徒歩1分
東西線「日本橋」駅
(B9出口)より徒歩3分





県内おでかけ情報

料金の()内は20名以上の団体料金



県水墨美術館

企画展「鬼才ー河鍋咲斎展
幕末を生きた絵師」

期間 6月25日(土)～8月7日(日)まで
料金 一般1,200円(900円)、大学生900円(650円)、小中高生無料
時間 9:30～18:00(入場は17:30まで)

幕末から明治への激動の時代を生きた、鬼才、河鍋 咲斎(かくなべさきざい)の世界を、肉筆彩色画、水墨画、錦絵に加え、晩暮がデザインした工芸品にて紹介します。特に本館の見所の一つである幅1メートルの空前絶後の巨大画面(新富黒髪怪引幕)は、北越では初公開となります。



「河鍋 咲斎(右)」(河鍋 咲斎記念会提供)

◎富山市英福777 TEL:076-431-3719

県民公園太閤山ランド

2016さいせり
in 太閤山ランド

期間 6月17日(金)～6月26日(日)まで
料金 無料
時間 9:00～16:30(最終日は16時まで)

太閤山ランドのあじさいは約500mの両側にヤマアジサイやカクアジサイが約70種2万株のアジサイが咲き誇ります。期間中の土・日曜日には、「新渥美会」や「お茶会」「あじさいの押し木教室」「押し花教室」などのイベントを開催いたします。また、教食コーナーを特設し、園内のアジサイを一日中楽しめます。(押し花見展示会は、期間中の平日も展覧場1Fギャラリーにて開催します。)



◎秋田市黒河4744-6 TEL:0766-56-6116

県民公園親成の森

第31回花しょうぶ祭り

催しに、清池に、600品種70万株のお出迎え～

期間 6月10日(金)～6月19日(日)まで
料金 無料 **時間** 9:00～17:00

親成の森水生植物園の花しょうぶの開花期に合わせ、回園の花しょうぶをテーマとした多彩なイベント(写真コンテスト、俳句コンテスト、ツイスラリ、スタンプラリー、花しょうぶ苗の育て方講習会等)を実施します。



◎砺波市親成156 TEL:0763-37-1540

県埋蔵文化財センター

企画展「古代へのとびら 2016

～なぜ解不了(と)日本の考古学～」

期間 開催中～9月4日(日)まで
料金 無料 **時間** 9:00～17:00

旧石器時代から江戸時代までのとよまの人々の姿を、富山県内で発掘された出土品を通して紹介します。展示室に隠されたキーワードを探し、パズルを解かると、楽しくとよまの考古学が学べます。



◎富山市英展町206-3 TEL:076-434-2814

県政

クイズ

○の中に言葉を入れてください。(ヒントは「作集」にあります。)

首都圏における富山県の新たな情報発信拠点として、「日本橋○○○館」がオープンしました。

正解者の中から10名の方に、「富山ブラックバーム(1箱)」をプレゼントします。

(NPO法人BROS (個別情報支援型非営利事業所))



はがきにクイズの答え、郵便番号、住所、電話番号、氏名、年齢と本館の感想を記入し、上記まで、当館の募集票は、発送をもってかえさせていただきます。※記入したはがき(個人情報は、厳正な管理のもと取り扱われ、アンケート集計とプレゼント発送にのみ利用します。宛先 〒930-8501 不要品回収部「県広報」県広報課「県広報」〒930-8501(水)必着

◆県広報とやまに関するご連絡、ご質問はこちら

〒930-8501 (住所記入不要) 県庁広報課まで

TEL:076-444-3134 FAX:076-444-3478

E-mailは次のアドレスのフォームより送り返してください

<http://www.pref.toyama.jp/form.html>

「県広報とやま」は、4-6・8・10月(年5回)発行で新聞読みみより各家庭にお届けします。また、県の各施設や市町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しているほか、本町バクティンでは、広報誌のホームページを開発しています。

◎広報課ホームページhttp://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1118/

平成28年6月5日発行 企画・発行 富山県経営管理推進課(富山新聞出版部(旧)) 編集局が権リョウエツ

◎「県広報とやま」は埋蔵文化財センターと共同発行しています。※下記の広告の両面に掲載する一助の責任は責任者に帰属します。なお、広告の掲載については、県広報TEL:076-444-3134までお問い合わせください。

県政の動き

最近の動き

- 4月 17 07富山環境大会合設記念シンポジウム(富山会場) 17日 高岡会場、29日 新川会場
- 28 (G7)富山県議大会(若狭) 29 富山県議大会(若狭) 30 富山県議大会(若狭)
- 5月 2 香の祭壇の運送
- 7 県民ふるさとの日記記念式典
- 17 07富山県議大会(若狭) 18日 富山市
- 23 とよまの祭典(富山)富山県議大会(魚津市)
- 23 2016北北アジサイ自治体連携フォーラムとやま(～24日 富山県)
- 29 第1次ライチョウサポーター隊 認定講習会及び結成式

今後の予定

- 6月 25 県議定例会(～21日)
- 25 県議定例会記念 ツツシヨルフェスティバル2016(～26日)
- 26 富山県産産・福祉フォーラム
- 7月 17 ヨットレース(宇毛)カッパ富山大会
- 24 富山遊岸サウザン2016
- 30 とよま夏祭り大会も舞台芸術祭2016(～8月4日 富山市・高岡市)
- 8月 7 世界少年野球大会富山大会(～25日 高岡市など黒部西6市)

TOPICS 1 木造住宅の耐震化を支援します

耐震化についてのお問い合わせは 県建設住宅課 TEL:076-444-3356

耐震診断・耐震改修の支援対象となる住宅は、次の要件を満たすものです。

■木造の一戸建て、階数が2以下のもので 昭和56年5月31日以前に完工して建てられたもの

■耐震診断に要する経費の約9割を県が負担します。申請者の負担額は以下のとおりです。

- ◎耐震診断費 280㎡以下:図面あり…2,000円/図面なし…4,000円
- ◎耐震診断費 280㎡超:図面あり…3,000円/図面なし…6,000円

◎お申し込み窓口 (一社) 富山県建築士事務所協会 TEL:076-442-1135

■耐震改修の支援について

耐震改修工事に要する経費の3分の2を補助いたします。ただし、補助金額の上限は60万円です。(建築物全、部分的な改修につきは補助対象となります。)

◎お申し込み窓口 各市町村の建築関係課



TOPICS 2 食中毒を予防しよう!

詳しい相談は暑期前の厚生センター及びお問い合せください。

夏はバーベキューなどの機会が多くなります。また、飲食店では鶏や牛の肉を提供するところもあり、肉の取扱いや手洗いに十分気をつけて、食中毒を未然に防ぎましょう。

- ◎肉の生食は危険です。 ◎生野菜は十分に洗浄して食べましょう。
- ◎肉肉の生揚げには、注意しましょう。 ◎調理器具はこまめに洗浄しましょう。
- ◎肉肉の時は、箸の使い分けをしましょう。 ◎手洗いを十分にやりましょう。

元気レシピ サバカレー

1人分 約601kcal(糖200g)



若い人の魚摂取を1人分一品として、清川市の学校給食でも提供されたサバの旨味を使ったカレーをご紹介します。サバの缶詰は保存性が高く、調理が手軽で食べやすいのも特長です。

【材料・分量(4人分)】

- 豚ひき肉(またはあひき肉)…80g、たまねぎ…300g、にんじん…80g、じゃがいも…150g、植物油…大さじ1、おろしにんにく…小さじ1、おろししょうが…小さじ1、サバ(水煮缶)…150g、カレー粉…60g、ウスターソース…大さじ1、濃口醤油…大さじ1

*作り方◎たまねぎ、にんじん、じゃがいもは皮をむき、乱切りにする。◎鍋に油をひき、おろしにんにくとおろししょうがを入れ、香りが立つまで炒める。◎野菜と豚ひき肉を加え、油がまわって野菜に味が染みわたるくらいにするまで炒める。水800ccを加えて材料が柔らかくなるまで煮込む(煮込み加減により水の量を適宜調整)。◎塩(はくしたサバとカレー粉)、調味料を加えよく混ぜる。◎仕上げにウスターソースを加え、よく混ぜる。

(協力)清川市生活改善推進協議会

モバイル印刷

スマートフォンやタブレット端末から、県広報の最新情報を閲覧できます。

(QRコードをスキャン)

